

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第3学年
使用教科書		『高等学校論理国語』第一学習社			
使用副教材等		『論理国語学習課題集』第一学習社 『現代文単語』いいずな書店			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分への思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	金森修 「人間という中心と、それよりも〈軽い命〉」 野矢茂樹 「言語が見せる世界」 浜田寿美男 「身体の個別性」 西谷修 「いのちのかたち」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈できるようにする。</li> <li>・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫できるようにする。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・例示などの修辞を理解する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> </ul>
2 学 期	大沢真幸 「リスク社会とは何か」 河野哲也 「コスモポリタニズムの可能性」 中村雄二郎 「目に見える制度と見えない制度」 丸山真男 「『である』ことと『する』こと」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈できるようにする。</li> <li>・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫できるようにする。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・例示などの修辞を理解する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> </ul>
3 学 期		

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	文学国語	単位数	4単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第3学年
使用教科書		高等学校文学国語（第一学習社）			
使用副教材等		学習課題集 TOP2500（いっずな書店）			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	山月記 檸檬 旅する本 花のいざない	学習のねらい 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、作品の主題を考える。 登場人物の心の動きを作品中の表現に基づいてたどる。 小説の特色を理解し、登場人物の心情の変化を読み取る。 指導上の工夫点 心情と状況をワンセットでとらえ、相互の関係に注目させながら読解を行う 留意点 漢字力を高めるために、原則として毎時間の漢字テストを実施する。
2 学 期	真珠の耳飾りの少女 こころ 葉桜と魔笛 わからないからおもしろい 枯野抄	1学期と同様である。 学習のねらい 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、作品の主題を考える。 登場人物の心の動きを作品中の表現に基づいてたどる。 小説の特色を理解し、登場人物の心情の変化を読み取る。 指導上の工夫点 心情と状況をワンセットでとらえ、相互の関係に注目させながら読解を行う 留意点 漢字力を高めるために、原則として毎時間の漢字テストを実施する。
3 学 期		

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	国語演習 B	単位数	2 単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第3 学年
使用教科書					
使用副教材等		ロジック現代文 私大過去問題演習 (桐原書店)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	私立大学入試問題を解き、合格に必要な素養を獲得する。
---------	----------------------------

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	<p>【マーク編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本のデザイン</li> <li>日本人にはわからない「共和主義」</li> <li>京都ぎらい</li> <li>家族の痕跡</li> <li>遠いほど近くなる</li> <li>歴史のゆくえ</li> <li>わたしの文章作法／色のない画</li> <li>恋愛及び色情</li> <li>科学と非化学—その正体を探る</li> <li>&lt;狭さ&gt;の美学</li> </ul>	<p>評論文においては、次の点に注目して本文の内容を読み取る訓練を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマをとらえる。繰り返し出てくる言葉に注目する。</li> <li>2 展開をとらえる。文章展開のパターンは次の2種類。A 同様の内容が最後まで繰り返されるタイプ。B 対比関係で論が展開されるタイプ。具体的には、「日本と外国の対比」「現在と過去の対比」「一般意見と筆者の意見の対比」の3種類が基本。</li> <li>3 結論をとらえる。文末表現に注目する。「～である。」「～だ。」「～と思う。」「～ではないか。」「～ではない。」など</li> </ol>
2 学期	<p>【マーク編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時間と自己</li> <li>落語の中の経済学</li> <li>流言のメディア史</li> <li>不平等を考える—政治理論入門</li> <li>「インテリ」と知的社会の変貌</li> <li>社会美学への招待</li> <li>人工知能時代を&lt;善く生きる&gt;技術</li> <li>個立の風景</li> <li>子どもにうったえる文章</li> <li>漱石を書く</li> </ul>	<p>随筆においては、以下の点をとらえるようにして指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 場面を読み取る。具体的には、登場人物・時・場所・時間の流れをつかむ。</li> <li>2 心情を読み取る。具体的には、「直接心情を述べたところから読み取る」「会話から読み取る」「行動や表情から読み取る」「情景描写から読み取る」など。</li> </ol> <p>評論文においてはの指導は1 学期と同様。</p>
3 学期	定期テスト	

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	古典演習B	単位数	2単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第3学年
使用教科書					
使用副教材等		東京書籍『新精選古典文法 実践ノート』 『新精選古典文法』			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	論理的な文章、文学的な文章、実用的な文章を読んで筆者の主張を正確に把握し、論理的に考察する力を養ったり、自己の感性を磨いたりすることで、多様な価値観を受け入れる力を身につける。また、問題演習を通して大学入試共通テスト及び、私立大学入試に対応する力を養成する。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	伊勢物語／大和物語 枕草子／大鏡 用言の活用 格助詞「の」 係助詞 音便 敬語 反実仮想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学入学試験に向け、古典文法を習得する。</li> <li>・ 接続や活用パターンを習得した上で、識別問題に挑戦する。</li> <li>・ 古典常識を習得し、文章の内容を理解する。</li> </ul> <p>小テストや、部分的な課題を課し、着実な力としていく。</p>
2 学 期	源氏物語  助動詞 和歌の解釈 敬語 呼応の副詞 識別問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学入学試験に向け、古典文法を習得する。</li> <li>・ 接続や活用パターンを習得した上で、識別問題に挑戦する。</li> <li>・ 古典常識を習得し、文章の内容を理解する。</li> </ul> <p>小テストや、部分的な課題を課し、着実な力としていく。 過去問に取り組み、読解スピードや正答率を意識させていく。</p>
3 学 期		

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類		学年	第3学年
使用教科書		数研出版『文学国語』			
使用副教材等		数研出版『文学国語 準拠ワーク』			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	『文学のふるさと』 坂口安吾 『父帰る』 菊池寛 『掟の門前』 フランツ・カフカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の関係を理解させる。</li> <li>・回想など時間の流れに注意して読み取らせる。</li> <li>・人物像の対比構造を読解に生かさせる。</li> <li>・人物の行動や内面の変化を読み取らせる。</li> <li>・情景描写が表す心情を読み取らせる。</li> <li>・比喩表現を正確に理解させる。</li> <li>・人物の思想について理解し、読解に役立たせる。</li> </ul>
2 学 期	『山椒魚』 井伏鱒二 『檸檬』 梶井基次郎 『無用の人』 原田マハ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の関係を理解させる。</li> <li>・回想など時間の流れに注意して読み取らせる。</li> <li>・人物像の対比構造を読解に生かさせる。</li> <li>・人物の行動や内面の変化を読み取らせる。</li> <li>・情景描写が表す心情を読み取らせる。</li> <li>・比喩表現を正確に理解させる。</li> <li>・人物の思想について理解し、読解に役立たせる。</li> </ul>
3 学 期	『件』 内田百閒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の関係を理解させる。</li> <li>・回想など時間の流れに注意して読み取らせる。</li> <li>・人物像の対比構造を読解に生かさせる。</li> <li>・人物の行動や内面の変化を読み取らせる。</li> <li>・情景描写が表す心情を読み取らせる。</li> <li>・比喩表現を正確に理解させる。</li> <li>・人物の思想について理解し、読解に役立たせる。</li> </ul>

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類		学年	第3学年
使用教科書		第一学習社『標準 論理国語』			
使用副教材等		第一学習社『標準 論理国語』 準拠 学習課題集			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>評論文や随筆を読む上での基本事項を習得させ、いくつかの着眼点に留意し、読解力の育成につとめる。</p> <p>文章を読み取る方法を習熟させ、応用力を身につけさせる。</p>
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<p>理解編Ⅱ</p> <p>「新しい博物学を」 池内了</p> <p>「コミュニケーションの文化」 平田オリザ</p>	<p>「新しい博物学を」…各段落の役割や関係を把握し、筆者の提案する「新しい博物学」の意義と可能性を考察する。</p> <p>「コミュニケーションの文化」…フェイクニュースの社会的問題を分析的に説明する論展開を把握し、自分に照らして考えを深める。</p>
2 学 期	<p>「クマを変えてしまう人間」 千松信也</p> <p>「経験の教えについて」 森本哲郎</p> <p>「支え合うことの意味」 鷺田清一</p>	<p>「クマを変えてしまう人間」…漁師である筆者の体験をもとに語られる、人間の活動と自然との関係について理解を深める。</p> <p>「経験の教えについて」…論理的文章の構成の型を知り、「経験の教え」について自分に引き付けて考えを深める。</p> <p>「支え合うことの意味」…抽象的な表現の意味を把握しながら、「支え合うことの意味」について考えを深める。</p>
3 学 期	<p>「推論とは何か」</p> <p>「小論文を書く」</p>	<p>「論理」をマンガと文章という二方面から理解する。</p>

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	国語基礎B	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類		学年	第3学年
使用教科書					
使用副教材等		『ニューフェイス現代の国語』第一学習社 『国語必携 ライトパーフェクト演習 三訂版』尚文出版			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>基礎的な国語の力を養成するとともに、就職試験・大学入学試験に対応せざる知識を身につける。</p> <p>評論や随想を読解して問題の解法を理解するとともに、用いられている漢字や語彙を習得して知識を向上させる。また、多様なテーマの文章を読むことで現代社会への理解を深める。</p>
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<p>「ライトパーフェクト演習」 第1編 基礎編①</p> <p>「ニューフェイス現代の国語」 1～10</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論・随想についての問題の解法を理解させる。</li> <li>・多種多様なテーマの文章を取り上げることで、現代社会への理解を深めさせ、他の文章読解の理解に役立てさせる。</li> <li>・1単元終了毎に付属の「要約ノート」を用いて100字要約を実施し、本文内容の理解度を測るとともに、入試課題に向けた対策とする。</li> <li>・漢字の読み書き、慣用表現、現代用語、カタカナ語など、国語常識の問題に幅広く取り組ませ、基礎を固めるとともに、文章題に取り組むなど、総合的な力をつけさせ、大学入学試験に耐えうる知識をつけさせる。</li> <li>・各単元毎に漢字や語彙を取り上げた学習プリントを用い、知識として定着させる。</li> </ul>
2 学 期	<p>「ライトパーフェクト演習」 第2編 基礎編② 第3編 基礎編③ 第4編 対策編</p> <p>「ニューフェイス現代の国語」 11～30</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論・随想についての問題の解法を理解させる。</li> <li>・多種多様なテーマの文章を取り上げることで、現代社会への理解を深めさせ、他の文章読解の理解に役立てさせる。</li> <li>・1単元終了毎に付属の「要約ノート」を用いて101字要約を実施し、本文内容の理解度を測るとともに、入試課題に向けた対策とする。</li> <li>・漢字の読み書き、慣用表現、現代用語、カタカナ語など、国語常識の問題に幅広く取り組ませ、基礎を固めるとともに、文章題に取り組むなど、総合的な力をつけさせ、大学入学試験に耐えうる知識をつけさせる。</li> <li>・各単元毎に漢字や語彙を取り上げた学習プリントを用い、知識として定着させる。</li> </ul>
3 学 期		

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	キャリア国語	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類		学年	第3学年
使用教科書					
使用副教材等		『現代の国語の基礎学習』尚文出版 『志望理由書・自己PR文完成ノート』第一学習社			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>評論を中心とした文章を読解して問題の解法を理解するとともに、用いられている漢字や語彙を習得して知識を向上させる。また、多様なテーマの文章を読むことで現代社会への理解を深める。</p> <p>進路決定に向けて、志望理由書・自己PRについての理解を深め、実践的な対策を行う。</p>
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<p>「現代の国語の基礎学習」 1～4</p> <p>「志望理由書・自己PR完成のノート」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評論を中心とした文章を読解し、設定されている各問題の解法を理解させる。</li> <li>・ 多種多様なテーマの文章を取り上げることで、現代社会への理解を深めさせ、他の文章読解の理解に役立てさせる。</li> <li>・ 各単元毎に漢字や語彙を取り上げた学習プリントを用い、知識として定着させる。</li> <li>・ 1単元終了毎に付属の「要約ノート」を用いて100字要約を実施し、本文内容の理解度を測るとともに、入試課題に向けた対策とする。</li> <li>・ 志望理由書・自己PR文完成ノートを用い、文面の完成を目指す。</li> <li>・ プレテストの結果も参考にしながら、2学期に行う添削に向けてたたき台を作れるよう、段階をおって指導する。</li> </ul>
2 学 期	<p>「現代の国語の基礎学習」 5～20</p> <p>「志望理由書・自己PR完成のノート」 添削課題作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評論を中心とした文章を読解し、設定されている各問題の解法を理解させる。</li> <li>・ 多種多様なテーマの文章を取り上げることで、現代社会への理解を深めさせ、他の文章読解の理解に役立てさせる。</li> <li>・ 各単元毎に漢字や語彙を取り上げた学習プリントを用い、知識として定着させる。</li> <li>・ 1単元終了毎に付属の「要約ノート」を用いて100字要約を実施し、本文内容の理解度を測るとともに、入試課題に向けた対策とする。</li> <li>・ 志望理由書・自己PR文完成ノートに従って、実践的な文章となるよう指導する。</li> </ul>
3 学 期		

